



ライオンズクラブ国際協会 332-C 地区

Governor Today

ガバナートゥデイ

ガバナーズローガン 支え合おう



ご挨拶

2025～2026年度 332-C地区ガバナー

齋藤 孝一 (多賀城LC)

ライオンズクラブ国際協会 332-C地区の皆さま、日頃よりクラブ活動ならびに地区運営にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

去る8月9日(土)、多賀城市の「ホテルキャッスルプラザ多賀城」にて、第1回キャビネット会議を開催いたしました。当日は70名程のライオンの皆さまにご参加いただき、会議は盛会のうちに進行されました。先に行われた国際大会の報告に続き、今期の地区運営方針を改めて確認し、幹事・会計からの報告を経て、第8号議案まで全て承認を得ることができました。各ゾーン・チェアパーソン、地区委員長からもそれぞれの活動方針や目標が発表され、地区全体としての方向性がより明確になったことは大きな成果であったと感じております。

今年度の地区運営にあたり、私が特に強調したいのは「ミッション1.5」の実現です。これは、全世界の会員150万人をめざすだけでなく、その背後にある「地域に根差した奉仕を持続可能にする基盤づ

Message

くり」を意味しています。各クラブの活発な活動を継続するためにも、会員増強は避けて通れない大きな課題であり、地区全体で力を合わせて取り組んでいく必要があります。

この時期、いよいよ地区ガバナーとしての公式訪問が始まります。県内の各クラブを直接訪ね、皆さまの顔を拝見しながら、活動の現場に寄り添い、率直な声を伺うことを楽しみにしております。公式訪問は単なる形式的な行事ではなく、ガバナーとクラブ、そして会員一人ひとりとの絆を深める大切な機会です。そこでいただいた意見や想いを地区運営に活かし、皆さまと共に前進してまいりたいと考えております。

残暑厳しい折ではございますが、どうぞ体調には十分ご留意ください。皆さまが健康で活動を続けられますよう心よりお祈り申し上げます。ともに奉仕の輪を広げ、実り多い一年としてまいりましょう。

第1回 キャビネット会議

2025年8月9日(土)/ホテルキャッスル多賀城

ライオンズクラブ国際協会332-C地区の第1回キャビネット会議が、2025年8月9日(土)14時より、ホテルキャッスル多賀城にて開催されました。当日は地区内各クラブから集まった70名程のライオンが一堂に会し、盛会のうちに進行されました。

会議では、先般行われた国際大会の報告が行われました。A.P.シン国際会長によるミッション1.5の重要性等、熱いメッセージの紹介やビジョンの共有が行われました。

続いて、本年度の地区運営方針が再度確認され、地区全体の方向性と目標が明確に示されました。斎藤ガバナーをはじめキャビネット三役からは「奉仕の輪をさらに広げ、地域社会に根差した活動を展開する」という力強い決意が表明されました。

その後、幹事報告があり、地区運営に関する進捗や各種連絡事項が共有されました。会計報告では、前期からの収支状況と予算執行計画が説明され、透明性の高い運営体制が確認されました。

続いて審議事項に移り、各議案が慎重に検討された結果、すべて満場一致で可決されました。このことは、地区内の結束と共通認識の高さを改めて示すものとな

りました。

会議の後半では、各ゾーン・チェアパーソンおよび地区委員長より、それぞれの担当分野における活動方針と具体的な目標が発表されました。会員増強、各クラブ奉仕事業の拡充、ライオン、ノンライオンへの広報活動の強化など、地区全体が一丸となって取り組むべき課題が明確化されました。

こうして第1回キャビネット会議は、今期の活動に向けた強い団結と共通のビジョンを確認し、盛況のうちに幕を閉じました。

〈第1回キャビネット会議 決議録〉

第1号議案 2025～2026年度予算(案)について

第2号議案 取引銀行の承認(案)について

第3号議案 旅費規程(案)について

第4号議案 慶弔規定(案)について

第5号議案 活動費規定(案)について

第6号議案 表彰規定(案)について

グッドスタンディング採点基準(案)について

以上、全て議案通り可決されました。



332 複合地区 YCE サマーキャンプ宮城

2025年7月30日(水)～8月1日(金)/宮城県南三陸神割崎キャンプ場・南三陸ホテル観洋



活動内容と発表

来日生達は、地元高校生や岩手のレオ達とキャンプ場でのバーベキューやコテージでの合宿、南三陸町体験学習プログラムのひとつ、山林から学ぶことを主体に適切で持続可能な森林管理（FSC）の認証を受けた山を見学しながらミニブッシュ体験（山林に少し入ったところでの火起こし）をし、また南三陸町「ひころの里」で町指定文化財 松笠屋敷、シルク館での繭細工作り体験などで日本文化に触れ、南三陸志津川LCメンバーが取締役会長をつとめる老舗の及善蒲鉾店の工場にて新開発された常温保存可能な蒲鉾の秘伝なども勉強し、最終日の閉会式会場で、各来日生が自分の体験をレポートにして発表しました。



YCE サマーキャンプとは

ライオンズクラブ国際協会が主催するYCE（Youth Camp and Exchange）サマーキャンプは、15歳から22歳までの若者を対象に全世界で毎年開催されている国際交流プログラムです。今年で60周年となります。

332 複合地区では各準地区が一年ごと持ち回りで主催しています。

2025年のサマーキャンプは、6年ぶりに332-C地区（宮城）の担当となり、洞口勝則 332 複合地区 YCE 実行委員長（名取LC）、大木俊則 332-C地区 YCE 実行委員長（仙台いわきりLC）のご尽力の下、宮城県南三陸町の「南三陸神割崎キャンプ場」と「南三陸ホテル観洋」にて開催されました。太平洋を望む絶景と豊かな自然に囲まれ、来日生ばかりでなく共に参加した宮城県南三陸高等学校の高校生、332-B地区（岩手）の石鳥谷レオクラブのレオ達は心身ともにリフレッシュできる環境の中で貴重な体験を重ねました。





EMMA BERGLUND SANDE (ノルウェー) OLIVER PEREZ DEL OLMO (スペイン) NOELIA CIGES MARÍN (スペイン)



NOELIA CIGES MARÍN (台湾) CHENG KUAN-LUN (台湾)



YCE プログラムの目的

国際交流の手段を提供することにより、異文化について学ぶ機会と国際平和を促進する国際関係を青少年が築き、発展させ、維持できるよう支援することを目的として行われています。

ホームステイ体験

332-C地区でも大木俊則 YCE 委員長（仙台いわきり LC）宅、鎌田正孝 国際関係・YCE・レオ委員会副委員長（仙台いすみ LC）宅にスペインからの来日生（OLIVER PEREZ DEL OLMO）がホームステイしました。



各来日生、ホストファミリーのレポートは、後日 MD332HPへ掲載されます。

まとめ

YCE サマーキャンプは、若者たちが自らの視野を広げ、異なる考え方や価値観に触れる貴重な経験の場です。日本からの派遣生も外国で同様のプログラムに参加しています。

友情と成長、社会貢献の精神を育むこのプログラムは、SNS等で簡単に交流できる現代社会において、ますます重要性を増しています。今回の南三陸町でのサマーキャンプも参加者一人ひとりの心に鮮やかな記憶として刻まれたことでしょう。

332-C地区会員の皆様、これからもYCE事業へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



キャビネット執行部紹介・構成員紹介

第1副地区ガバナー



L.今野 交
仙台LC

第2副地区ガバナー



L.内田 洋一
岩沼LC

キャビネット幹事



L.中舘 幸一
多賀城LC

キャビネット会計



L.笠松 昭治
多賀城LC

GMT地区コーディネーター



L.原田 尚樹
仙台広瀬LC

GET地区コーディネーター



L.志賀 重信
塩釜LC

GLT地区コーディネーター



L.井上 規夫
仙台LC

GST地区コーディネーター



L.佐藤 靖記
仙台いわきりLC

WYPT地区コーディネーター



L.大橋 貴利
塩釜中央LC

LCIF地区コーディネーター 眼鏡リサイクルセンター運営委員会 委員長



L.木川田 明弘
仙台大砂LC

キャビネットアドバイザー



L.中川 満
仙台いずみLC

第1R第1Zゾーン・チェアパーソン



L.石川 隆穂
仙台いずみLC

第1R第2Zゾーン・チェアパーソン



L.角田 司
仙台シティLC

第2R第1Zゾーン・チェアパーソン



L.佐々木 圭亮
名取LC

第2R第2Zゾーン・チェアパーソン



L.岡崎 弘
村田LC

第3R第1Zゾーン・チェアパーソン



L.渡辺 好広
仙台大砂LC

キャビネット執行部紹介・構成員紹介

第4R第1Zゾーン・チェアパーソン



L.伊藤 清彦
石巻めぐみ野LC

第4R第2Zゾーン・チェアパーソン



L.富士原 玲
とめシティLC

第5R第1Zゾーン・チェアパーソン



L.高橋 伸嘉
古川LC

第72回地区年次大会委員長



L.花淵 政市
多賀城LC

第72回地区年次大会事務局長



L.大津 晃一
多賀城LC

GMT委員会 委員長



L.鹿島 博文
蔵王LC

GET委員会 委員長



L.千田 忠一
塩釜LC

GLT委員会 委員長



L.遠藤 雅人
仙台LC

GST委員会 委員長



L.阿部 眞喜
塩釜LC

WYPT委員会 委員長



L.佐藤 わか子
仙台青葉LC

青少年健全育成委員会 委員長



L.土見 大介
塩釜中央LC

ALERT委員会 委員長



L.三好 康浩
七ヶ浜LC

広報委員会 委員長



L.大友 浩一
仙台青雲LC

国際関係・YCE・レオ委員会 委員長



L.佐藤 一三
大河原LC

YCE実行委員会 委員長



L.大木 俊則
仙台いわきりLC

LCIF・合同アクティビティ基金管理委員会 委員長



L.我妻 弘毅
仙台広瀬LC

キャビネット執行部紹介・構成員紹介

国際大会参加委員会 委員長



L.洞口 勝則
名取LC

献血・献眼・献腎推進委員会 委員長



L.松田 弘美
石巻日和LC

キャビネット筆頭副幹事



L.加藤 則博
多賀城LC

キャビネット副幹事



L.加賀 秀幸
多賀城LC

キャビネット副幹事



L.堀越 良克
多賀城LC

キャビネット副幹事



L.伊藤 陽一
仙台LC

キャビネット副幹事



L.山田 倫明
仙台LC

キャビネット副幹事



L.組谷 尚之
仙台LC

キャビネット副幹事



L.千葉 尚徳
仙台LC

キャビネット副幹事



L.佐藤 大
塩釜LC

キャビネット副会計



L.川口 裕子
仙台LC



ライオンズクラブ国際協会332-C地区 2025年-2026年度 地区運営方針



ガバナースローガン

支え合おう

アクティビティスローガン

コミュニケーション溢れる332-C

332-C 地区に求められる行動目標

1. 会員増強に関する地区目標設定

- ・ミッション1.5を支援するため、私は地区ガバナー任期中に、地区チームと協力して 地域に定められた会員拡大ターゲット値の達成に取り組む。
- ・当地区に定められた会員拡大目標数値を達成する。
- ・私たちのチームでは、下記ターゲット値に加え、
 - ①チャーターメンバー各20名以上の新クラブをさらに1つ結成する。
 - ②地区内のクラブは、既存のクラブにさらに30名の新入会員を入会させる。
 - ③会員をさらに5名純増させる。

[ターゲット値：新クラブ1、新会員142名、会員純増25名]

2. 指導力育成に関する地区目標設定

- ・知識の豊かなサーバント・リーダーは、各地域社会で新会員を呼び込み、ライオンズとレオが充実した会員体験を得られるようにする。私は地区ガバナー任期の第1四半期に、地区チームと協力してクラブ役員研修とゾーン・チェアパーソン研修の推進に取り組む。
- ①私たちのチームは、ゾーン・チェアパーソンの100%がゾーン・チェアパーソン研修に参加するようにする。
- ②当地区は、クラブ役員（会長、幹事、会計）100%がクラブ役員研修に参加するようにする。
- ③私は、地区GLTコーディネーターがLearnの研修管理機能を使って、完了したゾーン・チェアパーソン研修とクラブ役員研修を確実に報告するよう働きかける。

[Learnの研修をZC、クラブ三役に任期前に受けて頂きたい。また、できれば、地区内メンバーにライオンポータルが学べる場を設けて頂きたい]

3. 奉仕事業に関する地区目標設定

- ・クラブの奉仕のインパクトへの認識を高めて会員候補を呼び込むため、私は地区ガバナー任期中に、地区チーム

と協力してライオンズクラブとレオクラブの奉仕報告率の向上に取り組む。

- ①私たちのチームは、地区報告サービスに参加するライオンズクラブとレオクラブの100%を確保する。
- ②私は、地区GSTコーディネーターが適時に奉仕を企画して報告することの重要性を訴えていくよう働きかける。

[奉仕活動報告はクラブが国際協会にライオンポータルから直接報告するように求められている。各クラブに報告方法を改めて周知する必要がある。]

4. LCIFに関する地区目標設定

- ・会員オリエンテーションでLCIF（ライオンズクラブ国際財団）への寄付のインパクトに関する知識を高めれば、個人的な貢献と寄付を増やすことができる。
- ・LCIFがその資金獲得目標を達成し、グローバルなインパクトをたかめることができるよう、私は地区ガバナー任期中に、地区チームと協力してLCIFへの支援に取り組む。
- ①私たちのチームは、地区内の個人寄付参加率を50%、地区内クラブの寄付参加率を50%高める。
- ②私は、ブロンズレベルのLCIF理事長メダル獲得を目指す。
- ③私は、LCIFに1000ドルの個人献金を行い、当地区キャビネットの20人のメンバーにLCIFへの個人寄付を行うよう求める。
- ④私は、地区内の資金獲得目標が確実に達成されるようにすることで、国際会長LCIF達成アワードの獲得を目指す

[会員一人100ドルのLCIF支援を目指している。寄付0のクラブをなくし、参加率100%を目指したい。地区の会員数×100ドルを基準（1,200人×100ドル）とする。キャビネット構成員、ZC以上のリーダー数がMJF個人寄付者になれるようにしたい。]

332-C 地区関連 9 月度予定表

日程	行事
9/ 9 (火)	第1回 ガバナー公式訪問 (4R1Z)
9/12 (金)	第2回 ガバナー公式訪問 (5R1Z)
9/15 (月)	第3回 ガバナー公式訪問 (2R1Z)
9/19 (金)	第4回 ガバナー公式訪問 (4R2Z)
9/26 (金)	第5回 ガバナー公式訪問 (1R合同)
9/29 (月)	第6回 ガバナー公式訪問 (2R2Z)

アクティビティレポートは
アクティビティ通信として
15日に発信致します。